

令和5年度 志布志市女性活躍推進会議 会議内容

1 開催日

令和5年8月23日（水曜日）

2 場所

志布志市役所 志布志役所本庁舎4階庁議室

3 会次第

(1) 開会

(2) コミュニティ推進課長あいさつ

(3) 議事

ア 志布志市女性活躍推進事業報告及び計画について

イ 志布志市における女性活躍の課題と解決策について

ウ その他

(4) 閉会

4 会議の概要

本市における女性活躍を進める上での課題について「子育て支援」の観点から意見交換を行った。主な意見交換の内容は下記のとおり。

(1) 子育て支援施設の充実

- ・施設の広さの問題で子育て支援センターを利用対象の条件が厳しい。
- ・利用条件に当てはまらない場合に利用できる代替の施設が市内にないため、市外の子育て支援施設を利用している例がある。

(2) 保育サポートの充実

- ・日曜日、祝日、夜間に子どもを預けることができるサービスが不十分である。平日の昼以外でも、子どもを預けて仕事に行ったり地域の活動に参加したりしなければならない場合がある。特に、シングルマザーや移住者は、頼れる人が少なく、職場や地域での活躍の場が限定されてしまっているのが現状である。
- ・ライフスタイルや働き方の多様化に対応して、本市においても保育サービスの充実化は必要である。託児所や夜間保育の運営は費用面、人員の確保、場所の確保等課題が多く、民間だけで取り組める問題ではないので、行政が介入して進めるべきではないか。

(3) 企業との連携

・市全体が一体となって子育てを支援するという雰囲気がないのではないか。また、企業における誰もが働きやすい職場環境づくりの意識の浸透を図り、女性の働き手に向けての取り組みだけでなく、男性の育休取得の推進といった男性の育児参画を進める必要がある。

・企業が子育て家庭を応援できるような仕組みを作る。例えば、子育て支援に賛同する企業にステッカーを配布し、外から見えるところに貼ってもらう。企業が具体的にどのような方法で子育てを支援するかは検討が必要だが、見える化することで、市全体の子育て支援への機運を高める効果が期待できる。

・企業における女性活躍推進や働き方改革の取り組みについては、事業所と高校生の交流会といった行政から企業に向けた取組を継続していく。

(4) 固定的性別役割分担意識の解消

・「家事や育児を担うのは女性」という意識がまだまだ根強く残っている。特に世代間でのギャップを家庭や職場、地域で感じる子育て世代は多い。認識不足が心無い言動につながり女性の社会進出を妨げている。

・固定的性別役割分担意識の解消に向けて行政は啓発活動を継続する。若い世代における意識は変化しつつあるが、全ての世代に向けての発信が必要である。